

平成19年度

## 梅小路小学校 学校評価計画

学びあい，ひびきあい，輝きあう子の育成

### 1 学校評価のねらい

学校教育目標達成のために，どのように教育課程を編成し，それをどのように実施しているか，また，その成果は児童の学力に，あるいは行動面にどう現れたかを評価するものとして位置付けています。

#### ○評価目的

- (1) 児童・家庭・地域のおもいを知り，今後の梅小路教育に生かすこと
- (2) 家庭・地域にも学校教育に建設的な協力を促すこと
- (3) 家庭・地域と学校の互いの責任を明らかにすること

#### ○目指す子ども像

- (1) 思いやりとやさしさのある子
- (2) 自分の思いや考えをきちんと伝える子
- (3) 自ら学び，よりよい生き方をめざす子
- (4) 明るく，健やかな子

### 2 学校評価システムについて

- ①学校評価委員会は，校長，教頭，教務主任，人権教育主任，研究主任，小中連携主任としています。(梅小路プロジェクト)
- ②学校評価は，年間計画に基づいて行います。
- ③自己評価表及び外部評価表をもって実施します。これとは別に，随時，学校評議員より意見を聴取しています。

- 3 評価者 外部評価として保護者，地域の方から  
内部評価として教職員から

### 4 評価の視点と評価項目

#### (1) 視点

- ①授業と家庭学習 ②生きる力と子育て ③学校教育と家庭教育

これらは，家庭・地域と学校との連携の中で互いに分担し合い相乗的な効果により子どもの育成に結びつく重要な項目として位置付けています。

## (2) 評価項目

評価目的達成のため、学校が大事にしている内容と家庭・地域に大事にしてほしい内容を明示し、同じ項目で教職員も内部評価を行い、家庭・地域のおもいとの重なりやズレを明らかにしています。

## 5 情報提供・情報公開と説明責任

### 知らせる

学校経営の基本構想・・・学校便り、年度当初のPTA総会、学級懇談会等で知らせます。

### 見せる

教育実践・・・・・・・・授業の公開（学校参観、休日参観、学校行事参観等）  
子どもの姿・・・・・・・・学力（通知票）、学校生活の様子、友達等

### 説明する

学校便り、各種会合、学校評議員会等で説明します。

## 6 評価の実施時期（予定）と方法

7月 ①授業と家庭学習

12月 ②生きる力と子育て

2月 ③学校教育と家庭教育

○学級配布。アンケート記入方式にて回収後、データ化。職員会議で分析検討後、情報公開。